

南海トラフ 海底地震津波観測網 完成記念シンポジウム

2025. **7.29** TUE

13:15 ~ 16:30 **イノホール**

東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング



敷設船から海中に投入中の観測装置



敷設船内のケーブルタンクの様子



敷設船内に格納された観測装置



地震波形モニタ

近い将来に発生が懸念されている南海トラフ巨大地震の想定震源域のうち、高知県沖から日向灘は地震津波観測網の空白域でしたが、この度、防災科学技術研究所はこの領域に南海トラフ海底地震津波観測網（N-net）を整備し、完成の運びとなりました。これを記念して、N-net の整備に関する取り組み、N-net による海底地震津波観測、N-net のデータを使った研究と利活用への期待を広く周知するとともに、防災の担い手である地域・企業を含むユーザー側から提起される社会実装上の課題を共有し、産学官民が連携して南海トラフ巨大地震による地震津波災害を乗り越える取り組みがより推進できるようになることを目的にシンポジウムを開催します。

プログラム

1. 開会挨拶

2. 来賓挨拶

3. 感謝状贈呈

4. 基調講演

「南海トラフ巨大地震震源域の観測監視の重要性
—観測、解析、シミュレーションの統合研究の推進—」

金田義行 香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
副機構長 / 地域強靱化研究センター長 特任教授

5. 講演

「南海トラフ海底地震津波観測網（N-net）」

青井 真 防災科学技術研究所 巨大地震変災研究領域長 / 地震津波火山観測研究センター長

6. パネルディスカッション

「南海トラフ巨大地震の災害を乗り越える —N-net への期待—」

コーディネーター

日野亮太 東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター長

パネリスト

江渕 誠 高知県 危機管理部長

小平秀一 海洋研究開発機構 理事

高橋成実 防災科学技術研究所 連携研究フェロー

津田君彦 宮崎県 危機管理統括監

原田智史 気象庁 地震火山部地震火山技術・調査課長

藤井大三 西日本旅客鉄道株式会社 鉄道本部新幹線本部 新幹線施設部土木グループ課長

7. 閉会挨拶

※内容は変更となる可能性があります



国立研究開発法人

防災科学技術研究所

National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience

お問い合わせ N-net シンポジウム事務局 nnet_symposium2025@bosai.go.jp

会場参加方法

右 QR コードよりお申し込みください。

※定員500名 先着受付 締切：7月22日(火)

※定員となり次第、締切とさせていただきます。

https://www17.webcas.net/form/pub/bosai/nnet_symposium2025

参加申込は
こちら

